

会 議 録

会 議 名	令和３年度 嵐山町総合戦略検証委員会					
開 催 日 時	令和３年 11 月 11 日（木）		開 会	13 時 30 分		
			閉 会	15 時 50 分		
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 委員紹介 4 議 題 （１）会長及び副会長の選任について （２）会議録の署名人の任命について （３）嵐山町総合戦略の検証について （４）その他 5 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0 人	
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	会 長	権田 活一	出	委 員	山口 聡	欠
	副会長	高坂 英夫	出	委 員	鹿倉 貞二	出
	委 員	吉野 敦	欠	委 員	荒井 忠正	出
	委 員	小澤 秀	出	委 員	上高牧 悦子	欠
	委 員	荒神 文彦	出	委 員	青木 裕子	欠
	委 員	久保田 尚	欠	委 員	宮本 紀子	出
	委 員	嶋本 佳則	出	委 員	田中 操	出
	委 員	石川 博幸	欠	委 員	武城 文明	出
	委 員	村田 宏史	出			
事 務 局	地域支援課長 馬橋 透			地域支援課主任 田邊 幸靖		
	地域支援課副課長 青木 正志					

次 第	顛 末（要点筆記）
1 開 会	青木地域支援副課長
2 あいさつ	<p>（馬橋地域支援課長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町では少子高齢化や人口減少への対策を推進するため、H27「嵐山町人口ビジョン及び嵐山町総合戦略」を策定し就労・人口減少対策を行ってきました。第1期の期間が終了することに伴い、皆様のお力により今年6月に第2期のまち・ひち・しごと創生総合戦略が策定できました。誠にありがとうございました。 <p>今回は第1期の最終年度にあたる令和2年度分の検証となります。委員の皆様からは今までの総括も含め、色々なご提言を頂ければと思います。</p>
3 委員紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員より自己紹介を行った。
4 議 題	<p>（1） 会長の選任について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長が決定するまでの間、馬橋課長が議事の進行を行う。 ・会長の互選を諮るが、推薦なし。 ・事務局より、以前の委員会では区長会長が会長、商工会長が副会長となっていたと説明。 ・区長会長が会長、商工会長が副会長を務めることでよいか諮る。 <p>（異議無く了承される）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権田区長会長が会長に選任される。 ・高坂商工会長が副会長に選任される。 ・権田会長、高坂副会長より挨拶をいただいた。 ・権田会長が議長となり、議事の進行を行う。 <p>（2） 会議録の署名人の任命について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、名簿順でお願いしたいとの説明を行う。小澤委員と荒神委員を会議録署名人として決定した。 <p>（3） 嵐山町総合戦略の検証について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より、「嵐山町総合戦略検証結果（案）」、資料1「地方創生推進交付金に係る事業のKPI（案）」を基に項目ごとに説明を行った。 <p>【1. 雇用をつくる】</p> <p>（権田会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P,1 指標「らんざん活性化チームプロジェクトのイベント参加者数」であるが、目標値は累計であるが、実績値に記載されている数値は各年度の数値ということか。

(事務局)

- ・各年度の実績値を記載させていただいています。累計では、4, 287人となっています。

(荒井委員)

- ・この指標において【効果があったこと】、【課題となっていること】がうまくまとまっている。あるべき姿、現状、今後の課題と整理されている。今後も目標達成に向け、各事業が行われているか検証していくことが課題である。

(小澤委員)

- ・P, 2「②農業を中心とした産業の新たな展開」であるが、小麦農林 61号をつかった乾麺のお土産ができた。嵐山町に来て、嵐山町のお土産を家に持ち帰ってもらう。こういったお土産があるのは、町のPRとして非常によい。しかし、乾麺を知り合いにお土産として渡そうとしたが、町内では売り切れだったため、サービスエリアで購入した。

(事務局)

- ・乾麺は商品化されたばかりであり、手探りの中、生産量を決定しました。乾麺は最小生産数が多く、1度にたくさんの商品ができてしまいます。賞味期限もあり在庫を抱えることになるため、生産量の調整が難しい状況です。また原料となる小麦は、町内を始め多くの飲食店やなどで使われており、小麦の生産量などについては今後検討していきます。

(嶋本委員)

- ・農林 61号を使った商品には統一のマークを貼るなど、分かりやすく表示しているのか。

(事務局)

- ・商品に「農林 61号使用」と記載させていただいています。また、取扱店を紹介する「らんざん農林 61マップ」を作成してPRしています。

(小澤委員)

- ・ラベンダー園内で買い物をしても持って帰るのが大変だという声が聞かれた。紅葉やラベンダー時期だけでもいいので、関連商品などを武蔵嵐山駅でも取り扱ってもらいたい。

(事務局)

- ・武蔵嵐山駅の「嵐なび」でもラベンダー商品を販売しています。今後、販売する商品を充実していきます。

(高坂副会長)

- ・小麦の供給体制をしっかりしてほしい。
- ・農家さんをお願いして小麦の生産面積を増やすことは出来ないのか。

(宮本委員)

- ・乾麺は町をPRするのに、良いお土産であると考えます。今後は、買い

たいときにすぐに購入できるようになるのか。予約で買えるのか。
(事務局)

- ・小麦は農協にお願いして乾燥・調整をしていただいています。そのため面積を拡大できないジレンマもあり、その辺は今後検討していく必要があります。

【2. 人の流れをつくる】

※事務局より、資料1を基に「地方創生推進交付金に係る事業の重要業績評価指数（KPI）（案）」について説明した。

(宮本委員)

- ・ラベンダー園は地域で大きな話題となった。地域活性化の効果があったと考える。さらに発展していったほしい。ただ、ラベンダーが枯れてしまっているのは残念である。鉢で上手に育てている方もいる。管理方法を検討していただきたい。

(事務局)

- ・ラベンダー園の管理については試行錯誤している状況です。ラベンダーが枯れる原因として湿気が挙げられます。今年度は土に籾殻を混ぜるなど新たな対策を実施しています。また、併せて剪定方法についても新たな方法で実施しています。

(小澤委員)

- ・学校橋周辺でキャンプをしている方が多くいる。その影響もあり、下流の月田橋周辺の利用者もあり、ゴミが散乱し不衛生である。根岸地区で河川を清掃していたが、高齢化などもあり現在は行っていない。東松山市の管理部分もある。行政区が違う箇所もあるが対応を検討していただきたい。
- ・学校橋から東松山市の鞍掛橋までの一帯を整備することも検討してもらいたい。

(権田会長)

- ・バーベキュー場や学校橋から利用料金がかからない月田橋周辺での利用が増えていると考えられる。

(事務局)

- ・担当課と情報共有します。

【3. 安心して結婚・出産・子育てができる社会をつくる】

(鹿倉委員)

- ・P, 16 指標「嵐山町の出会い支援事業に参加した人数」であるが、出会い支援事業では具体的にどのようなことを実施したのか。また結ばれたカップルはいたのか。また、【効果があったこと】にトータルの成立カップル数を入れてもよいのではないかと。

(事務局)

- ・商工会主催の婚活イベントです。毎回2、3組程度結ばれています。
(委員会後、商工会に確認したところ、平成27年度3組、28年度9組、29年度12組、30年度10組とのこと。【効果があったこと】に追記)

(鹿倉委員)

- ・P, 22 指標「嵐山町の中学生の不登校率」について目標値 2.42%に対し、実績値 6.13%となっている。率が上がっている現状を踏まえて【効果があったこと】に記載があることはどうなのか。

(事務局)

- ・検証では担当課へ【効果があったこと】と【課題となっていること】の記載を依頼しています。その中で、担当課において目標達成に向け行った事業について記載していると認識しています。
- ・次年度以降に行う予定の第2期総合戦略の検証において、フォーマット等検証方法を検討していきます。
- ・嵐山町の中学生の不登校率であるが年々、生徒数が減っており母数が減っている現状もあります。

(嶋本委員)

- ・P, 18 指標「地域子育て支援センター数及びの利用者数」であるが、利用者数には、町外の利用者数も含まれているのか。含まれている場合、事業の成果を検証するのが難しいのではないかと。

(事務局)

- ・町外の利用者数も含めて検証しています。町外の方については利用料金の徴収を行っています。

(荒神委員)

- ・検証についてですが、目標を達成するために【やったこと】、その上で【効果があったこと】、【課題として残ったこと】といった方向で記載するのはいかがかと。
- ・不登校率であるが、目標値を率で定めたものについては、割合で検討しているので母数である生徒数の減少は理由にしては意味がないのではないかと。
- ・P, 22 指標「町立小中学校の学力向上」の【効果があったこと】に、子どもの学力のレベルが上がり、学力の伸びが見られたとあるが、どのような指標に対して、どのように学力が上がったのか。十分に効果が出ているということをアピールするために指標に対して責任を持つことが重要であり、学校教育が機能していることがアピールできれば、子ども、町民も増えるというところにつながっていくと思うのでしっかりアピールしていただきたい。

(田中委員)

- ・いじめはなかなかなくなる。いじめ問題対策連絡協議会はどういったものなのか。

(権田会長)

- ・現在、当協議会の委員となっている。国の規定に基づき、町の計画を策定し、町内でのいじめの件数や現状等について報告している。また、いじめが起因となる大きな事案があるかなどについても報告している。

【4. 住みよい環境をつくる】

(小澤委員)

- ・P, 28「○耕作放棄地の解消」の【課題となっていること】に、土地所有者と利用者とのマッチングが課題となっているという部分があり、これは、まさにその通りである。
- ・【効果があったこと】に農地バンク事業で耕作放棄地が減ったとあるが、課題は色々あると考える。農地バンクで成果があったかというとは必ずそれだけではない。耕作放棄地の問題についてはもう少し農業の現状について鑑み検討していただきたい。

(事務局)

- ・担当課へ情報共有します。

【5. 地域の安全・安心をつくる】

(嶋本委員)

- ・以前、防災無線が聞こえないという声があったが改善されたか。
- ・ブロック塀の撤去に対する補助金の利用率はどの程度か。

(事務局)

- ・防災無線をデジタル化しました。放送が聞こえないなどの声をいただいた場所については、都度対応させていただいています。また個別受信機を設置させていただくこともございます。
- ・ブロック塀撤去の補助金の申請について令和2年度までは0件ですが、令和3年は1件の申請があります。

(荒井委員)

- ・現在、防災無線は全町に向け、町からのお知らせについて流しているが、地区ごとに放送することは可能か。

(事務局)

- ・全町での放送となります。

----- 全体を通しての意見 -----

	<p>(武城委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次をつけて欲しい。 ・検証時には、計画策定時の担当者が異動してしまっていることが多い。検証するときには、策定時の担当者も含めて検証する機会を作ってみてはどうか。 ・誰に見てもらうかを考えた文章の表記にしてはどうか。例えば子育ての分野は、親御さんがみるため、理解しやすいよう平易な文面とするなど全体的にメリハリをつけるとよい。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考とさせていただきます。 <p>(５) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合振興計画検証結果（案）については、本委員会で検証するものではないが意見があればいただきたい。 <p>(特になし)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局より委員報償について説明を行った。 <p>(権田会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、議題は全て終了しましたので、議長の座を下ろさせていただきます。
5 閉会	高坂副会長
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和３年１２月７日 署名委員 <u>小澤 秀</u></p> <p>令和３年１２月７日 署名委員 <u>荒神 文彦</u></p>	